

プッチーニ作曲 歌劇「トスカ」

120818

幕	場	場面	内容	分	主な歌う登場人物				見どころ・聴きどころ		
第一幕 45分	1	聖アンドレア・デッラ・ヴァッレ聖堂の堂内	カヴァラドッシが、トスカを心から想っていることを歌う場面であり、聖アンジェロ城から脱獄した政治犯アンジェロッチと久しぶりに出会い、助ける場面。 政治犯は、妹のアッタヴァンティ公爵夫人が隠しておいた鍵で、礼拝堂に身を隠す。	34	12	カヴァラドッシ	政治犯	堂守	カヴァラドッシの有名なアリア「妙なる調和」		
	2		トスカ			カヴァラドッシ			トスカ役のソプラノ歌手の性格表現力が見どころ		
	3		カヴァラドッシが政治犯に対して、自分の別荘に隠れるよう言い、一緒に出て行く場面。			5	カヴァラドッシ	政治犯			
	4		ナポレオン軍が負けたと想い喜んで聖堂に、スカルピアが政治犯を探しに来るが、堂守に事情聴取したところ、政治犯は逃亡しカヴァラドッシが匿っている証拠をつかむ場面。	5		スカルピア		堂守			
	5		スカルピアが、トスカの嫉妬に火を付けて、政治犯の居所を探ろうとする場面。 トスカは、戦勝の夜会で急遽歌うことになり、夜のデートが無理なことを伝えに来たが居なかった。逆にスカルピアは、政治犯の妹と会っている旨臭わせ嫉妬の炎に火を付けた	11	7	トスカ	スカルピア			スカルピアは、トスカの涙に対して強烈な嫉妬と欲望を感じる	
	6		敬虔に進行する讃歌を背景にスカルピアの独白の場面。 「私の望みは、アンジェロッチを絞首刑台に送ること、もう一つはトスカを私の腕の中に」		4		スカルピア			祝砲と鐘の音と聖歌隊の歌を背景にしたスカルピアの独白	
第二幕 42分	1	ファルネーゼ宮殿内の三階にあるスカルピアの部屋	副官がカヴァラドッシを逮捕してきたので、スカルピアは聞き出すために、カヴァラドッシを拷問室に連れて行かせる場面。	22	8	カヴァラドッシ	スカルピア	副官			
	2		スカルピアが、呼び出しておいたトスカに対して、尋問する場面。 カヴァラドッシに対する拷問による悲鳴に、ついにトスカが井戸に潜んでいることを白状する。			10	トスカ	カヴァラドッシ	スカルピア		カヴァラドッシの悲鳴とスカルピアの尋問の板挟み
	3		カヴァラドッシは、ナポレオン軍勝利の知らせによりローマの専制政治終了を喜ぶが、絞首刑になるので牢獄に連れて行かれる。			4	トスカ	カヴァラドッシ	スカルピア		
	4		カヴァラドッシが釈放されることを望むトスカが、スカルピアに対して条件を提示する場面。 スカルピアは聖堂でのトスカの涙に恋心に火が付いたことを説明し、トスカの身体を求める。 トスカは、真面目に信心深く生きてきたのになぜこんな仕打ちを受けるのかと歌う。	10	トスカ		スカルピア		トスカの有名なアリア「歌に生き、恋に生き」		
	5		トスカはスカルピアの条件を受託するが、スキを見てスカルピアをナイフで殺害する場面。 副官から政治犯が自殺した報告を受けると同時に、カヴァラドッシに対する銃殺刑を空砲によることを指示し、トスカを安心させる。トスカはカヴァラドッシとの国外逃亡用の通行証を要求する。 通行証を書き終えてスキが出たスカルピアを、トスカは食食用ナイフで殺害する。	20	10	トスカ		スカルピア	副官	トスカが殺意を抱く	
第三幕 30分	前奏曲と羊飼いの少年の歌			7							
	1	聖アンジェロ城の歩廊（星が輝き晴天の夜）	カヴァラドッシは絞首刑を前にトスカに手紙を書かせてもらい、甘い思い出と絶望感を歌う場面	17	6	カヴァラドッシ			カヴァラドッシの有名なアリア「星は光りぬ」		
	2		カヴァラドッシは、牢獄に来たトスカから、今までの経緯と見せかけの銃殺刑が手続上必要であることと、その後の逃亡計画を聞き、愛の勝利を歌う。			12	トスカ	カヴァラドッシ			
	3		銃殺刑が終わってもカヴァラドッシが起きないので、トスカはだまされたことを知り、「スカルピア、神様の御前で」と叫び城壁から身を投げる。	5	トスカ	カヴァラドッシ		副官			

(注)紙の音がするので、開幕中は、このA4紙をしまってください。